

「はまなすの丘公園」では、5月から多くの花が個性的な美しさを見せてくれますが、秋も深まる10月にはさすがに開花はほんのわずか。シーズンの最後を彩る花々と美しい実を結ぶ樹木も併せてご紹介します。(写真提供：石狩浜定期観察の会)

はまなすの丘公園 10月のズームアップ



2012.10.3 はまなすの丘公園

2012.10.3 はまなすの丘公園

ウンラン (ゴマノハグサ科)

北海道から本州、四国北部の主に海岸の砂地に生育する日本固有種の多年草。ウンラン(海蘭)の名は、海岸に生育し花が蘭に似ているところからきています。葉は海浜植物特有の厚みのある肉質で緑白

色。砂地を這うように成長し、茎先に数個の花をつけます。黄白色の花びらは2唇形で上下に裂けており、下唇中央の黄橙色の盛り上がり花の奥を塞いでいますが、ハチはこれをこじ開けて蜜を吸います。はまなすの丘公園では8～10月、木道上から観察できます。

はまなすの丘公園 10月はコレを見つけよう



2013.10.2 はまなすの丘公園

コガネギク (キク科)

草丈20～70cmの多年草。鮮やかな黄色の花は径12～15ミリほどの頭花が散房状に集まったもの。1つの頭花は中央部に筒状花が集まり、周りを舌状花が囲みます。はまなすの丘公園では湿地そばの管理道路沿いで見られます。



2013.10.16 はまなすの丘公園

コマユミ (ニシキギ科)

紅葉が美しいコマユミは、はまなすの丘公園ではあずまや付近で見られます。6月に開花しますが、小さな淡黄緑色で目立ちませんが、秋に成熟した実が裂けると、鮮やかな橙赤色の仮種皮に包まれた種子がとても目立ちます。



2013.10.16 はまなすの丘公園

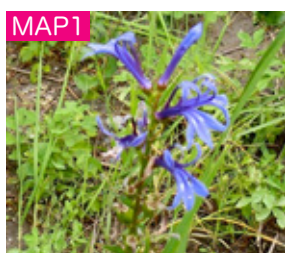
ツルウメモドキ (ニシキギ科)

はまなすの丘公園では、かなり先端部に近いところで見られます。直径8ミリほどの果実は7月に緑色だったものが9月に黄色になり、やがて3裂して、中から朱色の仮種皮が見えるようになります。種子は落葉後も残り、枝先を彩ります。

石狩浜海浜植物保護センター 観察園便り Vol.6 2014.9.12

企画制作：いしかり海辺ファンクラブ

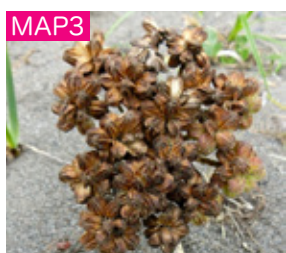
石狩浜海浜植物保護センターの裏に広がる観察園は、石狩浜に生育する植物を集めた植物園です。遊歩道に沿ってたくさんの種類の植物が植えられており、海浜植物をまとめて間近に親しめる穴場なのです。今回の取材は9月12日。深まり行く秋の観察園は、色とりどりの花が咲く一方、着実に結実を迎え、命を繋ぐ大きなサイクルを実感できました。あなたもぜひ観察園におでかけください。



MAP1 観察園の奥の湿原性植物のエリアではサワギキョウが開花していました。



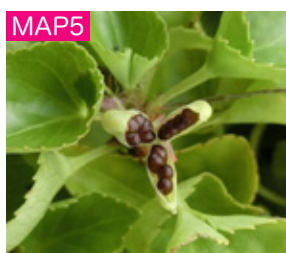
MAP2 ナガボノシロワレモコウの穂状の花がゆらゆらと風になびいています。



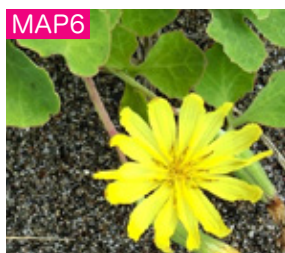
MAP3 ハマボウフウは実が茶色く熟しました。そろそろ地面に落下していきます。



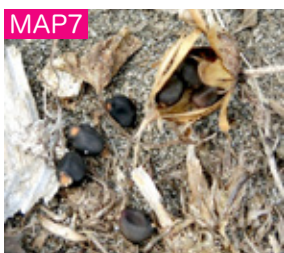
MAP4 ウランです。この株はもう少しで開花します。ウランは10月上旬までが開花期。



MAP5 イソスミレの開鎖花が自家受粉し、結実して裂けたところです。



MAP6 砂地に灯りがともるように彩かな黄色の花を咲かせるハマニガナです。



MAP7 ハマヒルガオは実の外皮が枯れ、黒い種子が周りにこぼれていました。



MAP8 シロヨモギが茎を伸ばし、小さな薄黄色の花を咲かせた後に茶変した状態です。



MAP9 ハマナスは花期が長く、晩秋まで花が見られます。



MAP10 秋の開花期を迎えたハマエンドウは次々に開花し、実のサヤも成長中。



MAP11 カシワの実(どんぐり)が順調に成長して、姿を見せ始めました。



MAP12 メドハギは花を終えて小さな実を結び始めています。



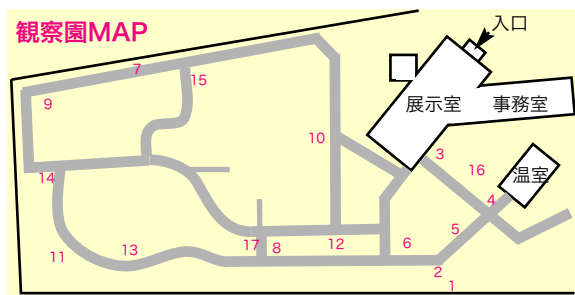
MAP13 コガネギクが園内のあちこちに咲くと秋を感じます。



MAP14 園内では7月から咲き始めたナミキソウですが、場所を移しながらまだ咲いています。



MAP15 ツルウメモドキの実は黄色になりました。もうすぐ皮が割れて朱色の種子が現れます。



MAP16 コウボウムギの雌株。黒く見えるのが熟した実です。



MAP17 ヒロハクサフジの群生は一ヶ月前と同じ様に多数の花が見られます。



ワンプイントトピック 羽化して間もないナナホシテントウ。上翅の色はこれから赤く変化していきます。



- 開園期間 4/29～11/3
- 開園時間 9:00～17:00
- 定休日:毎週火曜(祝日開園翌日休)

